

## ノボザイムズ ジャパン研究ファンド要綱

ノボザイムズ ジャパン株式会社 研究開発部門  
ノボザイムズ ジャパン研究ファンド事務局

### 〔目的〕

酵素や微生物を利用した独創的なバイオテクノロジー研究の振興、発展への貢献を目的とし、研究者に研究助成金を授与し、併せてノボザイムズ ジャパン研究奨励賞を贈呈し顕彰する。

### 〔選考、助成を実施する年〕

2011年より隔年で選考、翌年に助成実施。

なお、本制度の設立は1992年であり、2010年までは毎年実施

### 〔対象の研究領域〕

酵素や微生物を利用した独創的なバイオテクノロジー研究

### 〔応募資格〕

大学または公的研究機関において、上記研究分野に常勤で従事する研究者

### 〔研究助成金額〕

1件につき100万円（3件の予定）

研究助成金は助成対象の研究者が主導する研究課題（プロジェクト）に与えられる。

### 〔助成対象期間〕

選考の翌年、1月から1ヶ年とする。この助成対象年を助成年度とする。

### 〔選考方法〕

一般公募により募集する（当社ホームページ・学会誌等に詳細を掲載）。応募書類（日本語可）は、社内外の委員で構成されるノボザイムズ ジャパン研究ファンド選考委員会にて、厳正に審査する。

### 〔採否の通知と助成金の納付〕

最終選考後2ヶ月以内に採否結果を応募者全員に通知すると共に、受賞研究者のプロジェクトへの研究助成金交付の手続きをとる。なお、本研究助成金は奨学寄附金として、受賞研究者が所属する大学または公的研究機関の長あるいは所属部局の長宛に送られ、当該経理担当部署で管理される。

### 〔成果の報告〕

受賞者は、助成年度内に当社が主催するバイオテクノロジーフォーラム（公開）で口頭発表（日本語可）を行う。また、この口頭発表の前に英文の研究報告書（A4、6ページ程度）を提出する。

### 〔その他〕

若手の応募を推奨する。プロジェクトの研究成果を学会誌等に発表する場合、原則として、当該研究が本助成を受けて実施されたことを明記する。

## 1. 改革趣旨

助成金授与者のモチベーションの向上を目指し、授与者に併せてノボザイムズ ジャパン研究奨励賞を贈呈し顕彰する。また、受賞者が助成金を授与された事実や当財団への謝辞を学術論文や履歴書に記載しやすくすることを目的とする。

## 2. 改革のポイント

助成金と「賞（AWARD）」を同時に授与する形式とする。